



地雷の恐ろしさを訴え募金活動

報告者 宮城県仙台市立六郷小学校 杉本みえ子先生

ポイント

仙台市立六郷小学校は毎年募金を行っていますが、開始前に、募金の意味を全校児童に知ってもらってから実施しています。保護者の皆さんに対しても、貧困などであえぐ子どもたちの様子を訴えることにしています。今年度は、TV放送で全校児童にカンボジアを例にあげ、地雷の恐ろしさを訴えました。手や足が吹き飛ばされるという話に、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。地雷レプリカは、日本ユニセフ協会からお借りしました。



カンボジアで使われている、地雷の恐ろしさを伝えるポスター

地雷には、いろいろな種類があるだね。

心をこめて作りました。100円でできることがこんなに…。みなさん協力してください。



児童会手作りのユニセフ募金呼びかけのポスター



みんなで募金の集計作業

数えるのはたいへんだけど、募金がたくさん集まって嬉しいな。

感想

地雷のことを知っている子どもはいましたが、実物（レプリカだが）は初めてだったのでたくさんの児童が見に来ました。以前も水がめを借用しましたが実物の効果は大きいと思います。地雷レプリカにより、子どもたちの心に強く訴えることができました。子どもたちは、現在も世界のあちこちで戦争や紛争が起きていることが信じられない様子ですが、これからも日本とは異なる国々の実情を伝えていこうと思っています。